

&lt;参考&gt;様式第4号

30年10月16日

豊明市議会議長 殿

## 研修会・講演会等参加報告書

議員名 一色美智子

30 年度豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日付	研修先	研修項目及び 成果等
10月12日(金) 13日(土)	金沢歌劇座	日本女性会議2018in金沢 たえようこれまでの道 彩ろう未知なる明日

(注) 別紙添付も可能とします。

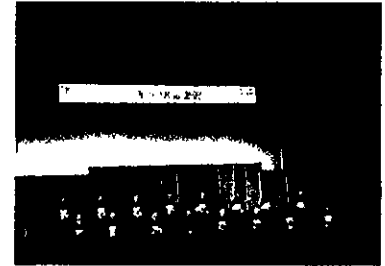
(注) 本報告書は5年間公開します。

## 平成30年度 公明党市議団視察報告書

一色 美智子

平成30年10月12日（金）・13日（土）  
日本女性会議2018 in 金沢  
金沢歌劇座

「たたえようこれまでの道  
彩ろう未知なる明日」



10月12日（金）

- 13:00～13:10 開会アトラクション
- 13:10～13:30 開会式
- 13:30～14:00 基調報告
- 15:00～17:00 分科会

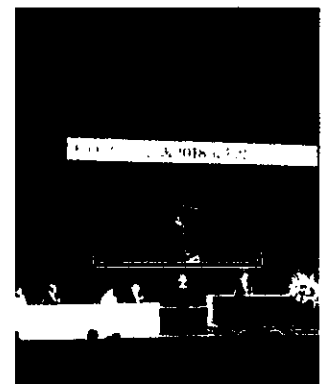


大会長（金沢市長） 山野之義  
今回35回目となります。

一人ひとりの多様な生き方が尊重され、誰もが生きがいや希望を持って暮らせる男女共同参画の実現に向けて活発な議論と参加者同士の連帯を広げ、深める場となるよう、実行委員会の皆さんで準備をしてきたそうです。

金沢市では、平成14年に金沢市男女共同参画推進条例を制定し、平成29年には新男女共同参画推進行動計画を改定し、方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大や、職業生活における女性の活躍促進・女性に対するあらゆる暴力の根絶の取り組みの強化等を重点課題としてさまざまな取り組みを進めている所であるとの事です。

実行委員長（金沢大学特任教授・金沢大学名誉教授）八重澤三知子「男女共同参画社会基本法」制定から約20年が経過する中で、女性に関する政策は着々と整備され、これまで声を上げることができなかったところからも聞こえてくるようになった。

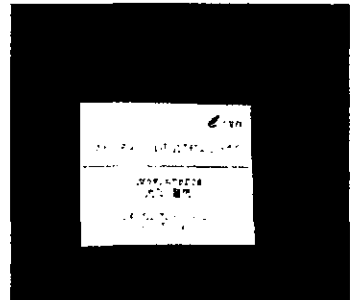


でもそれは物事の背後にあるより深刻で根源的な問題へと眼をむけさせる契機となった。

## 基調報告

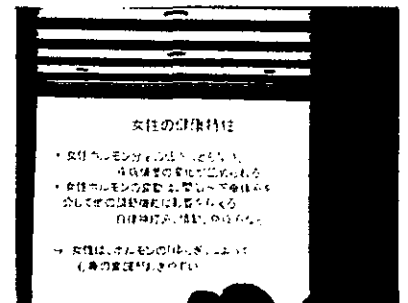
「フェアネスの高い社会の構築に向けて」  
内閣府男女共同参画局長 池永 肇恵

「女性活躍加速のための重点方針 2018」（平成30年6月12日に総理大臣官邸で「第7回すべての女性が輝く社会づくり本部」にて決定された）



女性が直面している様々な困難が解消された「フェアネスの高い社会の構築」に向けて盛り込まれた。

- ・子宮頸がん・乳がん検診の更なる普及
  - ・産後うつや女性の更年期への支援対策の促進
  - ・妊娠した生徒への学業継続に向けた適切な対応
  - ・ひとり親家庭への支援
  - ・女性に対するあらゆる暴力の根絶
- あわせて、
- ・男性の暮らし方・意識の変革の推進
  - ・女性活躍推進法施行後3年の見直し検討



性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる地域づくりを進める上で必要不可欠である。

1985年に男女雇用機会均等法、1999年に男女共同参画社会基本法、2001年にDV防止法、2015年に女性活躍推進法が成立、男女共同参画社会の実現に向けた法整備が着々と整備されてきた。

「女性の力」の発揮は、企業活動、行政、地域社会の等の現場に多様な視点や創意工夫をもたらし、社会の様々な課題の解決を主導する人材の層を厚くする。

女性活躍の場が広がることで、多様性を生み、付加価値を生み出す原動力となる。

人生100年時代を見据え、男女共に健康の確保、自己投資の時間の確保等にもつながる働き方改革を強力に推進し、就業する全ての女性



が能力を発揮でき、更に働きがいを持てる就業環境を整備することが今後必要になってくる。

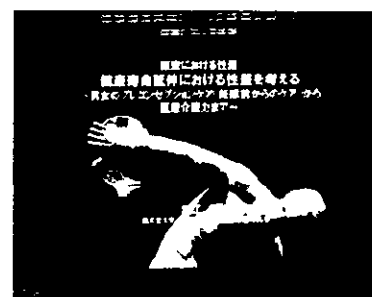
## 分化会

健康寿命延伸における性差を考える

～男女のプレコンセプション（妊娠前ケア）

から医療介護まで～

- ・人口減少をたどる中、人生100年時代が到来。
  - ・最近の話題として妊娠前のケアがとても大切である。
  - ・妊活の成績で卵子力だけでなく精子力がとても大切である
  - ・生活習慣血流の改善が卵子力・精子力の改善につながる。
- 健康寿命の延伸には性差の視点を持ち生活習慣病・血流をよくすることが必要。



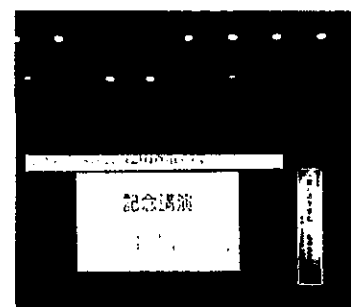
10月13日（土）

- 9：30～10：45 記念講演
- 11：00～11：30 分科会報告
- 13：00～13：20 アトラクション
- 13：30～15：30 記念シンポジウム
- 15：30～16：00 閉会式

## 記念講演

松田 若子 室生流能楽師

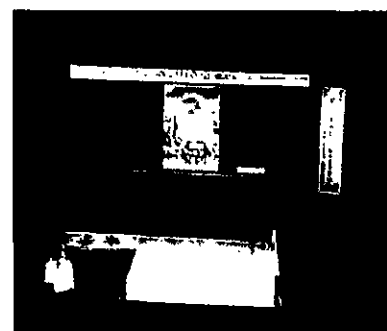
加賀藩前田家が庶民にも広く能楽を推奨し「加賀宝生」として独自の発展を遂げ、男性主導の能楽の世界において、真の後継者としてどう生きていくか、ご自身の歩みや妻として、母として悩み、奮闘する日々を通して得たものなど、一生懸命な生き方、自分らしく輝く事等ご講演をお聞きしました。



## 記念シンポジウム

これからの生き方・働き方のカタチ

～「結婚」の選択肢が不人気なわけ～



## 《まとめ》

歴史と伝統のまち情緒豊かな金沢で35回目となる日本女性会議が開催され参加する事ができました。

この女性会議に参加をして、日本は世界一幸せな国だという事を改めて知る良い機会となりました。

何かを始めようとしても、思うように行かない場合も多々ありますが、決して諦めず、逞しく生きていく事を学びました。

男女共同参画社会の実現・女性の活躍推進等々まだまだ進んでいないのが現状ですが、一人ひとりの意識改革が必要です。今後も女性が活躍しやすい環境づくりに向け学んでいきたいと思いました。

再来年はこの愛知の地、刈谷市で行われます。

